

科目名	情報基礎			担当教官	中村博文		
学年・学科	1 C	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	物質工学科	授業形式	講義・演習	オフィスワ-	月曜日 8 限		
学習目標	学校や家庭や職場で用いられる、情報の活用・発信の手段や情報の処理・通信の技術の概要の理解、活用・発信の初歩的技術の習得、活用・発信における個人の責任の理解を目標とする。						
進め方	情報の活用・発信や、処理・通信のしくみの概要について講義する。情報の活用・発信と、コンピュータを利用した問題解決については実技演習も行う。						
学習内容	学習項目		時間数	学習到達目標			
	講義	情報の概念、2進、16進 アナログとデジタル 情報の収集・整理、情報の加工・表現	4	2進、10進、16進の間で正整数を変換できる。 コンピュータによる情報の取り扱いの特徴と留意点を理解している。			
	演習	キーボード入力練習 ドローソフトとペイントソフト演習 Webによる情報検索演習 表計算ソフト演習	1 1	年度内に殆どの英数字を見ないで入力できる。 描画の基本的な機能を使用できる。 検索エンジンを使用できる。 簡単な集計とグラフ化ができる。			
	[前期中間試験]		1				
	講義	テストの返却と解説 情報の発信・交換と評価 情報の管理、ネットワークエチケット	5	発信・交換における留意点を理解している。 ネットワークエチケットを理解している。			
	演習	キーボード入力練習 表計算ソフト演習 ワープロソフト演習 ワープロと表計算の組み合わせ演習 電子メール演習	1 0	簡単な成績表を作成できる。 文字情報と図画情報を組み合わせられる。 図や表、参考文献の入る報告書を作成できる。 電子メールを送受信できる。			
	前期試験		1				
	講義	テストの返却と解説 コンピュータの仕組みの概要 コンピュータネットワークの概要 コンピュータを利用した問題解決	8	コンピュータの構成、ソフトウェアの階層、 ネットワーク構成の概要を理解している。 簡単な日本語アルゴリズムを手で実行できる。			
	演習	キーボード入力練習、電子メール演習 発表ソフト演習 パソコンの緒元・設定の確認演習	7	電子メールで課題の提出ができる。 発表ソフトを用い図表を交えた発表ができる。 緒元、ネットワークや画面の設定を調べられる。			
	[後期中間試験]		1				
講義	テストの返却と解説 コンピュータを利用した問題解決 情報のデジタル表現	6	プログラムで問題解決ができることを理解している。 日常の情報が2値情報により表されることを理解している。				
演習	キーボード入力練習 ワープロソフト演習 プログラミング演習	9	ワープロの設定確認と簡単な製本ができる。 簡単な入出力と繰り返しの命令を使用できる。				
学年試験		1					
評価方法	筆記試験 4 回（比率は各 6 分の 1）と、課題提出・授業への取り組み（比率は各学期 6 分の 1）によって評価する。						
関連科目	数学、物理、情報基礎(第 2 学年)、法学、その他多数の情報関連科目・コンピュータ利用科目						
教材	教科書：岡田正 他編、情報の活用と技術（実教出版）（後半は第 2 学年の情報基礎で扱う）						
備考	研究室は電子計算機センター内、奥の左側にある。授業日は記憶媒体を持ってくること。						